

産能大学通信教育課程 神奈川学生会会報

2003年度 最終号

発行責任者 山田純樹

1、イベントレポート

1月11日 新年会

場所:自由が丘駅近くのしゃぶしゃぶ・すき焼き食べ放題
費用:4,000円
参加人数:43名
お招きした先生:紙谷和夫 先生(情報資源の活用)

"年明けイベント第一弾"といたしまして、新年会を行いました。新しい年をお祝いし、皆で楽しく過ごすことができました!!

ホテルに戻ってからは、温泉でゆっくりと日ごろの疲れを癒しました。また、夜の宴会では、在校生から卒業生へのお祝いの言葉のあと、いつもにもましてカラオケで盛り上がりました。



3月14日 佐伯先生 勉強会

テーマ:現代企業と自己実現
場所:川崎市教育文化会館
時間:13時30分～
参加人数:27名

佐伯雅哉先生をお招きして、勉強会を開催しました。先生の語り口はおだやかで、本来は難しい事を、非常にわかり易い事例でお話していただきました。気さくな先生のお話により、参加者一同魅了されてしまいました。勉強会後の懇親会もさらに盛り上がりました。

2月21日 総会&懇親会

場所:自由が丘駅近くの中国家庭料理店
費用:3,500円
参加人数:約25名

2003年度神奈川学生会定例総会を開催しました。活動報告、会計報告、次期スタッフの紹介を行い、報告後は懇親会で盛り上がりました。



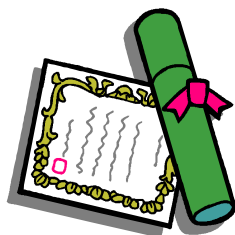
2月28日～29日 卒業旅行

場所:鬼怒川温泉
参加人数:12名

横浜から、ホテルの送迎バスで鬼怒川温泉まで移動。あわただしくも、テーマパークへ出かけちゃいました。

2、退任スタッフあいさつ

2003年度神奈川学生会スタッフの活動は、3月末日をもって、終了させていただきます。こうして活動が続けてこられたのは、励ましの言葉をかけてくれた方、お手伝いをしてくれた方、参加していただいた方々のお陰です。一年間、ありがとうございました！！



リーダー 山田起義

この3月をもって、神奈川学生会リーダーを退任させていただくことになりました。会員の皆様、スタッフの皆様には大変お世話になりました。皆様のご協力、ご支援のおかげで、無事に学生会運営を終えることができました。どうもありがとうございます。また、3月24日の卒業を迎えることが出来たのも、学生会の皆様のおかげです。

思えば、この1年は瞬く間に過ぎ去った感じです。就任のあいさつを書いていたのが、つい昨日のように思えます。始めは人の集まりも少なく、辛い時期もありましたが、いつしか人も集まるようになりました。そして、楽しく充実した1年を過ごすことができました。

私は卒業してしましますが、今後の神奈川学生会の更なるご発展をお祈りすると同時に、皆様へ心より感謝申し上げます。1年間本当にありがとうございました。

サブリーダー 山口(会計兼務)

3月末でご卒業された皆さん、卒業おめでとうございます。私自身も無事、卒業することができました。

思えばあっという間の2年間でした。特にこの1年は学生会サブリーダーという役目を頂き、皆さんからいろいろな事を学び自分自身成長できた1年となりました。

2003年度神奈川学生会が無事に終了することができ、私自身楽しく有意義な学生生活を送ることができたのも、学生会の皆さんそしてスタッフの皆様のおかげです。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

最後になりますが在校生の皆さん、楽しく有意義な学生生活を送りながら最後まであきらめず仲間と共に卒業を目指して頑張ってください。



サブリーダー 浅賀

産能大学に入り、あっという間の2年間でした。縁あって、神奈川学生会に入り1年間サブリーダーを勤めさせていただきましたが、振り返ると、力不足で皆様にご迷惑をかけてばかりだったと思います。そんな私を見放すことなく支えてくださった役員初め会員の皆様に心から感謝しています。

神奈川学生会を通じて知り合った友達や先生が、今の、そしてこれからの自分の人生において、大変貴重であると心底感じています。ありがとうございました。そしてこれからもよろしくお願いいたします。

サブリーダー 後藤

1年間サブリーダーを務めさせていただきました後藤です。前半は全くと言って良いほどイベントに協力出来ず、後半も至らない所ばかりで皆の足を引っ張っていました。そんな時でも、そこには温かく支えてくれる仲間が居ました。手を差し伸べてくれる仲間が居ました。だからこそ最後に「やってきて良かった」と心から言える自分が居ました。

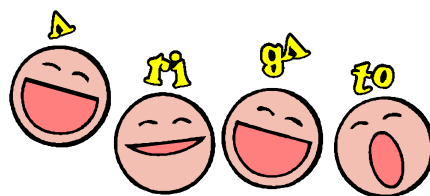
この世の中のこの地球のこの時代に、この産能大学で皆に会えた偶然を私は偶然では無く、皆が何かお互いを必要だと思う気持ちで導き合い集まった仲間ではないかと思う事があります。そして私は、皆に支えられ助けられて来た様に皆にとっても必要な人間でありたいと願います。この皆に会えた偶然を奇跡だと呼びたい！そして在校生の皆さん、次に奇跡を体験するのは貴方達です！

サブリーダー 立花

昨年、サブリーダーを引き受けた時は、仕事と学業、そして学生会の運営を両立できるか心配でしたが、なんとか努めることができました。これもひとえに、皆さんに支えられたお陰です。皆さんと共に、学生会の運営活動ができて楽しかったです。一年間、ありがとうございました！！

無事に卒業できるのはうれしいけど、ちょっぴり淋しい気持ちです。卒業式では、化粧がとれるから絶対に泣かないぞと思いつつ、最近、涙腺がゆるいので自信がないです。(^_>)

今、振り返ると入学から卒業まではあっという間でした。在校生の皆さん、残りの学生生活を ENJOY してくださいね！



サブリーダー 田中(宏)

色々な方に、色々とお世話になりました。無事卒業が決まって本当のスタートはこれからだと思っています。皆様のご活躍をお祈りしています。

HP 担当 吉岡

1年間ホームページを担当させていただきました、有り難うございました。なるべく情報を早く、判り易くお伝えすることを念頭におき、また見ていて楽しめるものを目指して作成してきました。至らない点も多かったかと思いますが、最後まで完走できたのも、皆様からのご期待の言葉と、役員の方々のご協力のおかげだと思っています。本当に有り難うございました。

次期役員の方々には、更に素晴らしい物を作りあげて頂けると確信しております。

3、2004年度新任スタッフあいさつ

4月からは、新リーダーの小太刀(こだち)さんをはじめ、エネルギー満ちた新スタッフで活動いたします!!

今から、いろんな企画を練っているそうなので、楽しみにしてくださいね。それでは、引き続き、神奈川学生会をよろしくお願いいたします!!

リーダー / 会員管理担当 小太刀 悟

次期リーダーを務めさせていただきます小太刀(こだち)です。今期のサブリーダーから引き続いてリーダーとなりました。

今期は、途中からサブリーダーとなりましたが、他の役員の皆さん、また会員の皆さんに良くして頂き、何とか勤め上げることが出来ました。ありがとうございました。そして、不安でいっぱいの中リーダーを引き継ぐこととなりました。

1年生より入学し、何となく大学生活が楽しくなればと入会した神奈川学生会ですが、3年生になった今、リーダーという大役を仰せつかりました。何分リーダーという器でもなく、未熟な私ですが、会員の皆様の学生生活がより一層充実したものとなるよう、学習会や各種イベントを計画していきます。

通信教育は孤独になりがちです。そんな孤独と同じ境遇の仲間と共に解消していきませんか?この学生会で、仲間を増やし、卒業に向けて頑張っていきましょう!

主役である会員の皆様が『神奈川学生会に入会して良かった』と思っていただけるような学生会を、他の役員と共に作り上げていく所存です。

情報交換の場として、ストレス解消の場として、又仲間との触れ合いの場として、学生会のイベントへの参加をお待ちしています。

最後になりましたが、一年間よろしくお願いいたします

サブリーダー / システム管理担当 西村

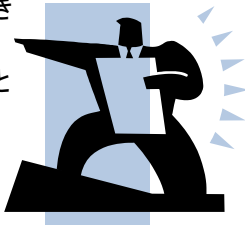
みなさん、こんにちは!今期、サブリーダーを担当させていただきますことになりました西村です。

2003年4月に3年次編入をし5月の入学式後の学生会入会説明会で「近所だから」という安直な理由で入会しましたがその安直な理由がピンゴ!

気軽に参加できる学生会イベントに色々に参加していくうちに仲間ができ、勉強、スクーリングの情報交換だけでなく様々なことに刺激あうことができ1年間充実した学生生活を味わうことができました!

前々期の『参加型学生会』前期の役員の方々が築いてきた『誰でも気軽に参加できる暖かい学生会』の雰囲気を今期も受け継ぎ『ノリ・ツッコミ・雰囲気』の3拍子をもとに『誰もが楽しく笑ってくつろげる学生会』を築き上げていきたいと思います。

まずは神奈川学生会の扉を叩いてみてください。よろしくお願いいたします!



サブリーダー / 会計管理担当 近藤

はじめまして。今期のサブリーダー兼会計を務めさせていただきます近藤です。よろしくお願いいたします。

3年次からの編入で来年3月卒業予定です。

通信という個人学習では、学習方法やペースを自分で組み立てなくてはなりません。これは最大のメリットですが、デメリットにもなり得ます。例えば仕事との両立が難しくなった時、悪い成績をとっちゃった時、思うように単位が取得できない時、休日返上でスクーリングに疲れがどっとでた時などなど...

自分一人ではくじけそうになることって意外にたくさんあるんです。そこでなんとなく諦めてしまうのか、踏ん張ることができるかの分かれ道では、仲間の存在は本当に大きいんです!!

情報交換するもよし

楽しいイベントで気分転換するもよし

いろいろな人の生き方や考え方に刺激を受けるもよし

愚痴を聞いてもらうもよし

そんな仲間がもてるのが神奈川学生会のいいところです!!

私たち役員が一丸となって、誰でも参加でき楽しめるような雰囲気作りやイベント企画に力をそそいでいきますので、入会を迷っている方もまず参加してみてください。お問い合わせだけでも大歓迎です。

よく学生会は若い人の集まりと思ってらっしゃる方も多いようですが、私たちの目指すのは“誰でも”参加できる学生会です。もちろん年齢も関係ありません!!

より多くの方のアクセスをお待ちしています o(^-^o



サブリーダー/インフォメーション担当 土田

一年間サブリーダーをやらせて頂くことになりました、土田と申します!

私は2002年の4月に一年生から入学して少し経ってから神奈川学生会の人に誘われたのがきっかけで入会しました。

最初は正直仲良くやれるか不安だったのですがみんなにとっても親切にして頂いたので今では家族との関係に近い親近感を勝手に抱いています(笑)

今まで学校生活を続けてこられたのも神奈川学生会のみんなと出会えたからだと思っています!

これからは小太刀さんをはじめとした役員のみならずみなさんと力を合わせて神奈川学生会を元気な素顔な場にしていこう頑張りますので宜しくお願いします!

サプリーダー / イベント企画担当 山本

みなさんこんにちわ。今回サブになりました山本です。

自己紹介はさておき、せっかく入った大学！！卒業も大事ですが、大学生活も楽しなくては！！・・・ということで、今年のイベントも盛りだくさんです。皆さん期待しててくださいね。

最後に、サブとして半年間という短い期間ですが(卒業できればの話ですが・・・もしかしたら一年いるかも？！苦笑)

神奈川学生会のメンバー一人一人がイベント面でも勉強面でも充実できるように少しでも手助けする事ができればと思っています。一生懸命頑張りますので宜しくお願いします！！



サプリーダー / イベント企画担当 生駒

今年度、神奈川学生会のサプリーダーを担当させて頂く事になりました生駒と申します。

通信教育課程では主に自宅での学習がメインとなりますが折角の学生生活、楽しみたい！との思いで学生会に参加しました。

通信教育課程ということで社会人の方が多いのですが、学生みなさんのいろいろな意味での交流の手助けとなればと思っています。

前年度の明るい学生会を受継ぎ、今年度のスタッフらしい味付けをしていければと思いますので、1年間宜しくお願いします。スクーリングの時に見かけたら気軽に声を下さいね。

サプリーダー / イベント企画担当 金子

みなさん、こんにちは！2003年の10月に入学して神奈川学生会に入らせていただいたばかりなのですが、何回かイベントに参加しているうちに暇人がばれてしまい、今回お仕事もさせていただくことになりました。

通信課程においての足りない部分補うべくみなさんと一緒に実りある学生生活をおくれるようがんばって行きたいと思っています。どうかよろしく。<(_)_>

4、お知らせ

メールアドレスの登録が誤っており、メールが届かない方がいらっしゃいます。一度もメールが届かない方は、ご連絡ください。また、メールアドレスをお知らせ頂いていない方も、できるだけお知らせ下されると助かります。

神奈川学生会は、大学公認の学生会であり、大学側への名簿を提出する義務があります。現在、学籍番号をお知らせ頂いていない方については、今後メール等により問い合わせの際には、返信よろしくお願いします。

5、2004年度会員更新のお願い

年度が切り替わりますので、更新手続きのご案内をさせていただきます。

神奈川学生会は学習意欲を継続することを目的に運営しています。産能大学に在学中の方で今年度も引き続き会員として残って頂ける方は指定の口座に年会費 1000 円を振り込んでいただきますようお願いいたします。

入金と同時に継続手続きは完了となります。入金後、メールにてその旨お知らせいただければ幸いです。確認の為に以下の項目を記入してください。

学生番号、郵便番号、住所、氏名、TEL(固定、携帯)

4月末日までに入金が行われていない方は、自動的に退会された扱いとなります。

【振込先】

銀行：UFJ 銀行 四谷支店東京女子医大出張所
普通預金 3734357

名義：産能大学通信教育課程神奈川学生会近藤美雪

【メール先】

freeway-staff@argonsoft.org

【振込み期限】

4月30日(金)厳守

6、最後に

神奈川県民ホールにて、3月24日(水)に学位授与式が行われました。神奈川学生会からも多くの方が卒業という大きな目標を成し遂げました。式典後の謝恩会では、これまでの学生生活を懐かしみながら、お互いの近況と、これからの目標などを語り合いました。

これから卒業を迎える方には、残りの学生生活が有意義で実りある時間となることを願っています。これからも神奈川学生会をよろしくお願いします。

お問い合わせ先Eメール : sanno@kanagawa.email.ne.jp

神奈川学生会ホームページ : <http://www.geocities.co.jp/CollegeLife-Cafe/4444/>

産能大学通信教育課程

神奈川学生会 大学院体験談



この春に産能大学を卒業され、大学院に進学される方に受験体験談を伺いました。また、昨年に大学院進学されたMさんに、近況報告をお願いしました。これから大学院進学を考えている方には参考になるのではないのでしょうか。

入院のススメあるいは学問という格闘技について J・A（女性）

MBAを取る、臨床心理士になる、あるいは弁護士を目指して、大学院に進むという人もいるだろう。明確な必要性のために大学院を志す人に、心から声援をおくりたい。そして、そこにはっきりした成果の予感が必ずしも今はなく、それでもなお、学びたい、自分にとっての真理を追求したいという気持ちに動かされて、大学院を目指す場合もあるのではないだろうか。

わたしの場合は、昨年の秋、社会人入試に挑戦した。この4月より法政大学大学院政策科学研究科に進むことになっているが、6月の入試説明会への参加を皮切りに、9月始めの書類提出、9月末の試験まで、かなりの集中力で乗り切った記憶がある。出願に必要な書類は次のものであった。

- (1) 入学志願票
- (2) 卒業(見込)証明書
- (3) 成績証明書 編入学前の成績証明書も提出
- (4) 入学試験面接カード
- (5) 研究計画書
- (6) 履歴書
- (7) 職務・活動等報告書 / 職務経歴書
- (8) 論文・評論・作品等(任意提出)
- (9) 推薦状(書式自由)

これだけの必要書類を整えるだけで、本当にへとへとになった。入試説明会のおり、主任教授より「卒業研究に取り組んでいるなら、書類提出のとき、未定稿でよいからある程度論文の形になっているもの

を添えなさい」との言葉をいただき、卒論をレジュメからレポートの形にまとめながら、研究計画書テーマ設定、文献収集、そして、短大時代の恩師、かつての職場の上司・先輩、そして現在の卒業研究の指導教授に推薦状をお願いし、卒業証明書や成績証明書を取り寄せ、それこそ、いくつもの作業を同時並行しながら、提出書類にモレがないよう何度も何度も入試要項と見比べた。

試験は小論文 + 口述試験。口述試験は、自分の提出した研究計画書に対し3人の面接官が質問するという形式であったが、厳しい質問の連続で、約50分間は学問というリング上での格闘技のようもあった。

こんなふうにし苦勞し勝ち取った「合格」ではあるが、合格の喜びは一瞬で、それがすぐに達成感につながるわけではなく、秋季試験から春までの半年の間には、自分の選択が果たしてこれでよかったのか、別の道があったのではないかという、迷いや焦燥感が傍らにいた。それがわたしにとっての院試の現実である。この迷いのある先生に伝えたら、「それはある面当たり前のこと。院に合格したということは、研究する場を与えられたということですから」という言葉をいただき、煮詰まっていた気持ちから抜け出すきっかけとなった。院に進んでから、果たして自分はどんな成果を出せるのか、不安ではあるがそれでも一歩を踏み出そう。



直接に大学院入試は出てこないが「学問をする」ことに興味がある方にオススメなのは、遥洋子「東大で上野千鶴子にケンカを学ぶ」(遥洋子著 / 筑摩書房 / 1400 円)、社会人がなぜ大学院で学ぶのかを自身の心と照らし合わせたい場合は「研究計画書の考え方 - 大学院を目指す人のために - 」(妹尾堅一郎著 / ダイアモンド社 / 3500 円)を読んでいただきたい。その他、大学院の情報収集、入試対策には「日経 大学・大学院ガイド」等の利用は効果的である。



院の入試対策の中に次のような記述があったことを記憶している。「大学院に進んで自分が何かを与えてもらうのではなく、自分がその院に行くことによってどんなメリットをそこに与えられるのか、それが重要である」この言葉は受験生にとって重く、大きい。

日本大学大学院総合社会情報研究科
人間科学専攻博士前期課程
T・Y（男性）

神奈川学生会の皆様、こんにちは。T・Yと申します。私事で恐縮ですが、このたび何かのご縁(?)で、日本大学大学院総合社会情報研究科人間科学専攻博士前期課程へ進学することとなり、大学で学んだ産業心理系科目の勉強を続けることになりました。先日、山田リーダーより「体験談を書いて欲しい」とのお話をいただき、最初は試験問題を暴露しようかと考えましたが、大学が過去問非公開としていところに、私が文章として個々の出題を明らかにしてしまうのは問題である考え、本稿ではこれから大学院を目指す方へ、私がオススメしたい本を紹介させていただくこととしました。



(1) ダイヤモンド社 「研究計画書の考え方」

妹尾堅一郎 3500円

この本は大学院進学のパイブルらしく、多くの志望者が読んでいるようです。私も購入を考えましたが、会社の近くの本屋で毎日のように“立ち読み”しました。大学院とはどういうモンだということから話が始まるので、かなり楽しく“立ち読み”させていただきました。同社より「大学院 研究計画書合格実例集」という本もありますが、私の研究計画書とはレベルが違いすぎた為、1度立ち読みしたあとは、敢えて読まないようにしました。

(2) ダイヤモンド社 「社会人の大学・大学院合格ガイド」

950円

ダイヤモンド・セレクト10月号(2003年)の雑誌です。上記の妹尾堅一郎氏も一部「指南役」として登場しており、値段が安いため購入しました。巻末の「夜間でも学べる大学院全リスト」は非常に見やすく便利だと思います。

すが、私がこの雑誌を購入したのは12月末でしたので、既に終了しているものもあり少々悔やまれました。

(3) オクムラ書店 「これで書ける！大学院研究計画書攻略法」

野林靖夫 2600円

「フレーム法」という方法を用いて文章を組み立てていく方法が紹介されており、文章を書くのがヘタな私にはおおいに参考になりました。「面接試験応戦術」も参考になると思います。但し、試験当日は緊張のあまり全く別のことを話した事は言うまでもありません。

(4) 東京図書 「合格ナビ！心理系大学院・大学編入攻略」

伊藤順康 2800円

この本に書かれている勉強法も役にたつと思いますが、特筆すべきは付録の心理学専門英語頻出単語集です。心理学用語について、日本語でもあやしい私にとって、唯一の英語試験対策となりました。でも、実際の試験には殆ど出題されず、ガッカリして一夜ですべて忘れてしまいました。

(5) 東京図書 「心理学を学びたい人のための

大学・大学院の歩き方」伊藤順康 2000円

大学入学当初に古本屋で発見し900円で購入しました。各大学院の英語全文和訳問題に唖然となりました。この本は「歩き方だけを紹介すべき」と思ったくらいでしたが、心理系大学院へのアンケート結果が掲載されており、その中で「履修していることが望ましいと考える内容」に「統計学」という項目があり、少なからずの大学院で、この項目をあげていることに気づき、ちゃっかり4年次で履修しました。自分でもかなり姑息だと思います。



(6) 日経BP社「インターネットでMBA・修士号を取る」

笠木恵司 2400円

選択肢の一つとして米国のMBAもいいかと考え購入しましたが、そこまでの英語力は無いと判断し、本棚に飾ってあります。私にとっては将来読みたい本となりました。(“読む”ではないところに注意。)

(7) エール出版社「私の大学院合格作戦 '05年版」

1400円

大学院入試の数日前に購入し、1日で読み終わりました。この出版社から出されている合格作戦はモチベーションを高めるのに役立ちます。ちなみに産能大学入学前には同社の「通信制大学・短大 超トクする活用法」を購入し、「学歴コンプレックスを消すにはどうする」という項目を読み、大変感銘を受けました。

(8) 東洋経済「大学院のすすめ」大槻義彦 1500円

この本は大学院合格後に購入し読みました。やや理工系の話になっている部分もありますが、これから学ぶ大学院というところについて、多少なりとも情報を得ることができたと思います。

最後になりましたが、神奈川学生会から一人でも多くの方が大学院に挑戦され、毎年3月の会報の名物企画になることを願ってやみません。なぜなら、私自身も昨年の体験談を読み、非常に勇気づけられたからです。また、大学院目指す人同士での情報交換は、何よりも励みになり心強いものになると思います。皆様の益々のご活躍をお祈りいたします。

信州大学大学院工学研究科情報工学専攻M1

I・M(男性)

神奈川学生会の皆様、こんにちは!!

I・M@信州大学大学院工学研究科情報工学専攻M1です。

さて、すっかり忘れていたのですが、一年後に書き書くことになっていたらいいです。約束した記憶はないのですが、リーダーに「書け!!」といわれると逆らえないので…。

去年は書記の内宮さんに「書いてください」だったのですがね…。

それでも、産能大&紙谷ゼミ(問題解決ゼミ)では先輩なん

ですが…><

まあ、人生の大(笑)先輩なのでいいのかな…。

さて、なにから書いていいものか難しいのですが、昨年のものを読んでいない人もいるでしょうから、まずは、私が研究をしている大学院についての紹介をします。

上にも書きましたが、私は現在、インターネット大学院で(ほんの少しだけ)有名な信州大学大学院でセキュリティに関する研究をしています。(セキュリティといっても、セコムとかの物理的なものではなくコンピュータを用いた電子的なものです。インターネット関連と書けばイメージしやすいでしょうか…)

情報工学専攻と書いてありますように、ここは理系の大学院となります。(実は、私はなんちゃってセキュリティエンジニアなんです。)

最近は理系の院も増えてきているようですが、それでも数的には少ないですね。しかも、ネットのやり取りだけで卒業ができるという形態は社会人にとっては、かなりありがたいものだと思います。ネットに接続できる環境さえあれば場所は問いませんので、家だけでなく、職場や、移動中など、さまざまな場所で研究ができるのもメリットのひとつだと思います。



まあ、そんな大学院に入学しまして、早いもので一年が経過しました。

私たちの扱いは通学生なのですが、通常の大学院と違い、ほとんどの場合大学に行く必要がありません。インターネット大学院と歌っているくらいですから…。

もちろん行ってもいいんですがね…。(所属研究室により年に数回程度通う必要がある可能性もあります。)

このようなため、自己管理ができない人は研究が難しいかもしれません。といっても、産能を卒業される人にとっては、あたりまえのことですので、別段特別なことではありませんね。

さて、いいことづくめのような大学院ですが、ご多分に漏れず、自分の好きなことだけを勉強できる所ではなく、必修科目というものも存在します。これは所属の研究室次第になるのですが、研究室により必修科目がもちろん異なります。研究室により研究する内容が違うためであり、そのための

知識が違うからです。ここで、苦手な科目が必修だったりすると、かなり苦労するんでしょうね。私は幸運にもそんな科目はなかったですが…。

先ほどから出てくる、「研究室」ですが、院生は必ずどこかの研究室に所属し、指導教官を決める必要があります。また、修論の指導はその担当教官から受けます。もちろん教官も専門分野がありますので、院生はその辺りを考慮に入れ、自分で決める必要があります。教官の紹介、専門分野などは、ネットで公開されているため、それをチェックし、自分で決めるという方法もありますし、面接試験でも研究計画書の説明により学校側で決めてくれるパターンがあります。どちらがいいかは一概には言えませんが…。

私の場合は、自分で選ぶなどというおこがましいことはできなかったの、(というか、見てる暇がなかったのが原因ですが…)

面接時の研究計画書のプレゼンで「セキュリティの研究がしたいのでその専門教官を希望する」といいましたので、現在その担当教官から指導を受けています…。



そんな、大学院の単位の履修方法ですが、大きく分けて二通りあります。

1. 毎週課題が出されそれを決められた期日ごとに行うもの。(非定期で、年数回しかありません。)
2. 期日の期限がないもの。(ただし、年度ごとに問題が変わる物があります。)

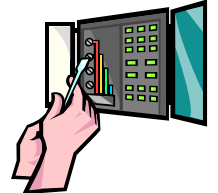
基本的には、期日の指定のない社会人にやさしいつくりになっておりますが、一部の科目に期日のあるものがあります。私も履修しましたが、最近ではセキュリティ特論などがそうです。ただし、全ての課題をださなくても単位取得はできます。が、それは成績に影響してきます。あたりまえの話ですが…。

また、インターネット大学院はわざわざ入学しなくても、学部、大学院ともに学習をすることもできます。つまりお金をかけずに勉強ができるのです。もちろん学位は出ませんが…。

ほとんどの科目はアクセス制限がかけられていませんので自由にアクセスすることもでき、課題を出すこともできます。まさに開かれた大学院です。 問題の疑問点は公開されて

いるBBSにでも、科目ごとのBBSにでも自由に匿名で質問することができます。

このような環境の中で、一年間勉強をしてきました。私の勉強方法としては平日昼間(会社から)、夜間と休日にCAIといわれる科目の履修を行います。課題の作成や純粋な勉強、ネットでの調査などです。情報工学ですので、プログラミングなどもあります。また、科目の中では、マイコンの実習もありますので半田こてを握ってのキットの作成などもあります。仕事とは違う面から学習をしますので仕事をより楽しかったりします。もちろん、理系ですから数学もあるんですが…。



これだけですと一方通行の勉強で、わざわざ高いお金を払う意味がないのですが、ネットの大学院であるためか、担当教官とは毎週やり取りをしています。

所属の研究室では週一でレポートを出さなければいけないのです。雑談でもなんでもいいとは言われていますが、一応指導教官ですのできちんと書いています。ただ、週一なので毎週日曜は朝からブルーだったりします。成果が上がっていないと、何もかけませんから…。

今年度の前半は言い訳ばかりだった気がします。

まあ、そんなかんじで一年間学習を続けてきましたので、卒業に必要な単位はほぼ取得ができました。

あとは、修士論文の作成だけとなっています。所属研究室によりますが、大体どの研究室も今ごろの時期にテーマのしぼりこみをするようです。私も、担当教官との話し合いが終わり、テーマの設定ができたところです。これから、プログラムの作成、運用、テストといった工程を得て最終作品を作ります。もちろん、その都度、厳しい突っ込みは受けるでしょうが、自分の興味のある研究ですので最後までがんばっていく予定です。運がよければ来年の2月くらいに発表となりますが、どうなることでしょう。

国立ですので、かなりのレベルのものを要求されそうです。まあ、楽しみながらやっていきたいと思います。

来年の今ごろ、会報に載っていなければ、流年ってことでしょうね…。と自分にプレッシャーをかけてもう一年がんばって研究していきます。